

# 平成30年2月4日(日)13時～ パレアホール(鶴屋東館)で 障がいの疑似体験イベントに知的障がいの疑似体験ブースを 出店します!

熊本市手をつなぐ育成会では、障がい種別を超えたKDF(熊本障害フォーラム)の一員として、熊本市や県と意見交換会をしたり、国に対して、要望書を出したりしています。  
KDFでは一般の方々にも障がいのある人の生きづらさを感じていただき、より理解を深めていただきたいと、障がいを体験してもらうワークショップを開催することになりました。

## ワークショップの中身をちょっとご紹介…

- ①二人一組になり、Aの人は渡された紙に書かれた絵を言葉でBの人に伝えます。  
Bの人は聞き取った言葉から想像し、紙に描いてもらいます。

…果たしてAの人は、Bの人にうまく伝えられるでしょうか？  
また、Bの人は、言葉のと通りの絵を描けるでしょうか？



- ②「ちょっと」「ちゃんと」「リンゴ」「ボール」を絵に描いてみてください…

○「ちょっと」や「ちゃんと」は、日ごろよく使う言葉ですが、  
絵に描くとそれぞれ違う答えが出てきます。

○「リンゴ」は、わかりやすいですが、  
お弁当に入っているようなウサギの形に切ったリンゴ、  
中にはビートルズのリンゴスターを思い浮かべる人も…

「ボール」もサッカーボールや野球のボール、  
調理用のボウルを描く人もいるかもしれません。



\*人間は音声(言語)で情報を伝達することが多いですが、知的障がいの方は耳だけで聞いても理解できないことが多く、「ちょっと」や「ちゃんと」など曖昧な言葉を絵で表現することがむずかしいように、知的障がいのある人は細かいニュアンスや表現の理解に乏しいことがあります。

\*ワークショップでは、このほか、軍手を使ったり、ペットボトルを使ったり…

「知的障がいのある人はこんな風に見えていたのか」とか、知的障がいのあるなしにかかわらず、「考え方も見方も人それぞれ違うんだ」ということを再認識できますよ!

知的障がい以外の団体もそれぞれ疑似体験ブースを用意しています。ぜひ体験してみてください!!

ワークショップのお問い合わせは  
熊本市手をつなぐ育成会事務局へどうぞ  
☎ 352-0010